

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 セレスポ

コード番号 9625 URL <http://www.cerespo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲葉 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 村田 修一

TEL 03-5974-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,296	△7.2	△86	—	△30	—	12	—
23年3月期第2四半期	3,553	△2.9	△152	—	△141	—	△121	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.28	—
23年3月期第2四半期	△22.18	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,782	3,504	51.7
23年3月期	6,428	3,573	55.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,504百万円 23年3月期 3,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	△2.4	△30	—	20	—	25	—	4.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	5,703,500 株	23年3月期	5,703,500 株
24年3月期2Q	217,744 株	23年3月期	216,848 株
24年3月期2Q	5,486,299 株	23年3月期2Q	5,487,658 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有な会計処理	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
5. 補足情報	9
(1) 部門別売上高	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により停滞を余儀なくされた生産活動も、サプライチェーンの復旧に伴い徐々に回復しつつありますが、今後に向けた本格的な復興政策の実施や電力の供給問題など山積する課題とともに、円高・株安の進行や欧州の財政不安がもたらす世界的な景気減速懸念などもあり、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、売上高に関しましては、日本陸上選手権大会の継続受注に加え、高校総体開会式の元請けを初受注し、また、アジア陸上競技選手権大会、トライアスロン競技大会の新規受注によりスポーツイベントが好調だったものの、第1四半期累計期間における東日本大震災の影響が大きかったため、売上高全体では減収となりました。

利益に関しましては、売上原価ならびに販売費及び一般管理費の経費削減により営業損失の赤字幅が縮小し、また、投資信託の収益分配金の増加による営業外収益の改善により、経常損失の赤字幅が縮小しました。

なお、適格退職年金制度から確定拠出年金制度の移行による退職給付制度の一部終了益として特別利益109百万円を計上したことにより、四半期純利益は黒字となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,296百万円(前年同期比7.2%減)、営業損失は86百万円(前年同期の営業損失は152百万円)、経常損失は30百万円(前年同期の経常損失は141百万円)、四半期純利益は12百万円(前年同期の四半期純損失は121百万円)となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

[スポーツ]

日本陸上選手権大会の継続受注に加え、高校総体開会式の元請けを初受注し、また、アジア陸上競技選手権大会、トライアスロン競技大会の新規受注等により、売上高は932百万円と前年同期比75.0%の増収となりました。

[セールスプロモーション]

販売促進等の減少により、売上高は631百万円と前年同期比17.3%の減収となりました。

[セレモニー]

竣工式等の減少により、売上高は538百万円と前年同期比13.8%の減収となりました。

[フェスティバル]

地域振興イベント等の減少により、売上高は507百万円と前年同期比28.7%の減収となりました。

[コンベンション]

記念式典等の減少により、売上高は466百万円と前年同期比27.5%の減収となりました。

[レクリエーション]

運動会・納涼祭の減少等により、売上高は157百万円と前年同期比39.6%の減収となりました。

[その他]

テントの売渡し・貸し出しの需要が増加したことにより、売上高は62百万円と前年同期比289.4%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期末の資産は前事業年度末に比べて353百万円増加し、6,782百万円となりました。

これは主に現金及び預金が92百万円、受取手形及び売掛金が304百万円増加したこと等によるものであります。

(負 債)

当第2四半期末の負債は前事業年度末に比べて422百万円増加し、3,277百万円となりました。
これは主に買掛金が448百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期末の純資産は前事業年度末に比べて68百万円減少し、3,504百万円となりました。
これは主に利益剰余金が3百万円、その他有価証券評価差額金が64百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて92百万円増加し、732百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は62百万円（前年同四半期は資金の支出45百万円）となりました。

これは主に売上債権の増加額が293百万円あったものの、仕入債務の増加額が448百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は27百万円（前年同四半期は資金の獲得98百万円）となりました。

これは主に投資有価証券の取得による支出が136百万円あったものの、有価証券及び投資有価証券の売却による収入が112百万円、利息及び配当金の受取額が46百万円、それぞれあったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は2百万円（前年同四半期は資金の支出67百万円）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出が355百万円、リース債務返済による支出が17百万円、配当金の支払額が16百万円それぞれあったものの、短期借入金の純増減額が100百万円、長期借入による収入が300百万円それぞれあったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点では平成23年8月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。当社の繁忙期である10月及び11月の業績動向を見極めたうえで、修正すべき事態が発生した場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期財務諸表の作成に特有な会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	613,004	705,562
受取手形及び売掛金	891,197	1,195,884
有価証券	76,112	27,064
原材料及び貯蔵品	19,520	19,480
未成請負契約支出金	19,569	91,684
その他	79,644	95,856
貸倒引当金	△54,067	△50,078
流動資産合計	1,644,981	2,085,454
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	428,393	417,230
土地	3,310,250	3,310,250
その他（純額）	152,734	177,720
有形固定資産合計	3,891,378	3,905,201
無形固定資産	59,665	52,154
投資その他の資産		
その他	900,403	796,029
貸倒引当金	△67,991	△56,740
投資その他の資産合計	832,412	739,289
固定資産合計	4,783,455	4,696,645
資産合計	6,428,437	6,782,099

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月 31 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成23年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	576,036	1,024,738
短期借入金	200,000	300,000
未払法人税等	28,914	18,301
賞与引当金	26,169	43,291
1年内返済予定の長期借入金	622,230	648,240
その他	278,573	383,760
流動負債合計	1,731,923	2,418,333
固定負債		
長期借入金	661,226	579,870
退職給付引当金	292,234	68,748
役員退職慰労引当金	45,470	46,137
資産除去債務	40,656	40,798
その他	83,514	123,546
固定負債合計	1,123,102	859,100
負債合計	2,855,025	3,277,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,675	1,370,675
資本剰余金	2,155,397	2,155,397
利益剰余金	115,787	111,849
自己株式	△62,060	△62,158
株主資本合計	3,579,800	3,575,762
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,388	△71,096
評価・換算差額等合計	△6,388	△71,096
純資産合計	3,573,411	3,504,666
負債純資産合計	6,428,437	6,782,099

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	3,553,622	3,296,179
売上原価	2,578,159	2,337,231
売上総利益	975,462	958,948
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	577,639	565,111
賞与引当金繰入額	17,158	11,056
その他	532,839	468,789
販売費及び一般管理費合計	1,127,636	1,044,957
営業損失(△)	△152,173	△86,009
営業外収益		
受取配当金	15,205	45,957
貸倒引当金戻入額	—	8,501
その他	3,601	10,152
営業外収益合計	18,807	64,611
営業外費用		
支払利息	8,172	8,639
営業外費用合計	8,172	8,639
経常損失(△)	△141,538	△30,037
特別利益		
有価証券売却益	—	10,925
投資有価証券売却益	19,110	6,762
退職給付制度終了益	—	109,279
その他	—	910
特別利益合計	19,110	127,876
特別損失		
投資有価証券売却損	15,261	12,218
固定資産除却損	4,975	128
事務所移転費用	3,682	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,136	—
関係会社株式売却損	—	14,792
その他	6,552	—
特別損失合計	61,607	27,139
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△184,036	70,699
法人税、住民税及び事業税	10,736	10,742
法人税等調整額	△73,069	47,435
法人税等合計	△62,333	58,178
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△121,703	12,521

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△184,036	70,699
減価償却費	40,609	42,851
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,136	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	21,749	△15,239
賞与引当金の増減額 (△は減少)	26,614	17,122
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23,294	△223,486
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,015	666
受取利息及び受取配当金	△15,386	△46,044
支払利息	8,172	8,639
有価証券売却損益 (△は益)	—	△10,925
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,848	5,456
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	14,792
固定資産除却損	4,975	128
売上債権の増減額 (△は増加)	△239,102	△293,683
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△87,790	△72,075
仕入債務の増減額 (△は減少)	334,756	448,752
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,072	3,891
保険積立金の増減額 (△は増加)	1,241	9,700
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	85,780
その他	9,827	36,745
小計	△29,846	83,773
法人税等の支払額	△16,096	△21,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	△45,942	62,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△12,704	△10,978
無形固定資産の取得による支出	△4,480	—
投資有価証券の取得による支出	△123,210	△136,816
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	91,319	112,014
関係会社株式の売却による収入	—	9,707
貸付けによる支出	△800	△1,000
貸付金の回収による収入	2,015	3,528
利息及び配当金の受取額	15,418	46,046
敷金及び保証金の差入による支出	△2,403	△1,377
敷金及び保証金の回収による収入	47,210	6,793
その他	△14,185	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	98,180	27,868

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	20,000	100,000
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△337,290	△355,346
自己株式の取得による支出	△141	△98
利息の支払額	△8,033	△8,404
リース債務の返済による支出	△9,346	△17,242
配当金の支払額	△32,906	△16,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,718	2,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△15,480	92,570
現金及び現金同等物の期首残高	437,942	640,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	422,462	732,627

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 部門別売上高

当社の事業は、イベント総合請負業並びにこれらの関連業務の単一事業セグメントであります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんが、部門別の売上高は次のとおりです。

部 門	主要内容	(単位：千円、%)	
		当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
		金 額	前年同期比
スポーツ	ゴルフ・国体・インターハイ	932,491	175.0
セールスプロモーション	展示会・見本市	631,333	82.7
セレモニー	地鎮祭・竣工式	538,966	86.2
フェスティバル	市民祭・産業祭	507,103	71.3
コンベンション	記念式典・会議	466,042	72.5
レクリエーション	運動会・納涼祭	157,702	60.4
その他	上記以外	62,540	389.4
合 計		3,296,179	92.8

(注) 1. 上記金額には消費税は含まれておりません。

2. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。